

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) ヤマト運輸株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒104-8125 東京都中央区銀座2-16-10	
本票作成	部署名：岡山主管支店 安全推進課				
主たる業種	分類コード	44	業種名：道路貨物運送業		
事業の概要	貨物自動車運送業：166,152人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山主管支店（県南部 62事業所の合計）		岡山市中区倉益253-11、他	
	②	津山主管支店（県北部 33事業所の合計）		苫田郡鏡野町古川1072-5、他	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 95 所 ●車両台数 (②該当の場合) 921 台)				

計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度 (1 箇年度)									
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満	
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○		
温室効果ガス排出量	基準年度（平成 28 年度）					目標年度（平成 29 年度）				
	11,687 t CO ₂					11,570 t CO ₂				
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度（平成 28 年度）の排出量					
	①	岡山主管支店（県南部 62事業所の合計）			6,782 t CO ₂					
	②	津山主管支店（県北部 33事業所の合計）			4,905 t CO ₂					
					t CO ₂					
					t CO ₂					
					t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	CO ₂ 総排出量 ÷ (宅急便配達個数 + ネコポス配達個数 + コンパクト配達個数)		基準年度	目標年度
			313.388 t CO ₂ / (個)	297.719 t CO ₂ / (個)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 28 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

温室効果ガスの削減目標を1%とし、原単位当り排出量を基準年度の95%に設定する。

【目標削減率達成のための推進体制】

企業の社会的責任である環境保護活動を「ネコロジー」と称し、環境を意識した事業活動とともに、社員一人ひとりが常に環境保護の意識をもって日々の業務を行っている。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山主管支店	1. 発進時の動作として、アクセルを踏まないロー発進を徹底 2. モーダルシフト（車から鉄道利用） 3. 電気自動車の導入（3台）

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
岡山主管支店	1. 集配における駐車場所を設定し、走行距離を削減する（弊社では、安全ルートマップ・バス停集配という） 2. 集配車両に自転車や台車を搭載し、走行距離を抑制する（弊社では、2マン集配・チーム集配という） 3. 運行ルートを見直し、高効率な積み合わせを行い、運行車両台数を削減する

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

「省エネ推進委員会」を設置し、年2回会議を開催して各責任部門の点検・清掃実施と省エネ推進状況の確認を行う。

主な工場等の排出量は岡山県南部、北部でそれぞれ下記のように代表主管支店にて合計値を報告する
 ※岡山主管支店・・・岡山県南部の合計 62事業所の排出量の合計値
 ※津山主管支店・・・岡山県北部の合計 33事業所の排出量の合計値